

# 令和5年度 浄化センター探検隊（夏休み施設見学） 実施報告書

日 時	令和5年8月10日（木）9：00～11：00
場 所	九頭竜川浄化センター
対 象	県内在住の小学生および保護者
参加者数	38名（児童24名、保護者14名）
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・センターの説明</li><li>・施設見学（水処理棟、消化ガス発電、汚泥処理棟、広場、池など）</li><li>・試験室で実験（ティッシュペーパーを使った実験、微生物観察）</li><li>・クイズラリー</li><li>・質問コーナー</li></ul>
主 催	公益財団法人 福井県下水道公社

## 見学の様子

### ・センターの説明



### ・消化ガス発電見学



### ・処理水を利用した池



### ・ティッシュペーパーを下水管に流してはいけないことを学ぶ実験



# 新聞に掲載されました

・日刊県民福井（8月13日）↓

## 下水処理仕組み学ぶ 三国の施設親子が見学

坂井市三国町の下水処理施設「九頭竜川浄化センター」で十日、県内の児童と保護者を対象にした見学会があった。参加者は、自宅や工場から排出された汚水が微生物の力できれいになり、発生した汚泥が100%

処理棟では、小さなごみや汚泥などを沈める「最初沈殿池」、微生物で水を浄化する「反応タンク」、微生物の塊を沈める「最終沈殿池」を見て回った。

同センターを管理する県下水道公社が企画。参加者は、汚水と汚泥を沈める「最初沈殿池」、微生物が汚れを分解する「反応タンク」、汚れを食べた微生物の固まりを見学した。職員は「一日十七時間の汚泥が発生している。全てを肥料などに再利用している」と紹介した。クイズラリーもあり、児童は「処理後の水は魚が生きやすいくらいきれい」「汚水処理に必要な時間は十二時間」と答えた。鯖江市立待小学校六年の板倉旺成君（こ）は「下水が川へ流れるまでに半日という長い時間がかかることに驚いた」と話していた。（山本洋児）



・福井新聞（8月13日）↓

## 排水浄化仕組み 児童ら40人学ぶ

坂井の施設で見学会

坂井市三国町の九頭竜川浄化センターで10日、施設の見学会があった。市内外の小学生と保護者約40人が、家庭や工場から出る排水がきれいになるまでの仕組みを学んだ。

同センターを管理する県下水道公社が企画。参加者は、汚水と汚泥を沈める「最初沈殿池」、微生物が汚れを分解する「反応タンク」、汚れを食べた微生物の固まりを見学した。職員は「一日十七時間の汚泥が発生している。全てを肥料などに再利用している」と紹介した。クイズラリーもあり、児童は「処理後の水は魚が生きやすいくらいきれい」「汚水処理に必要な時間は十二時間」と答えた。鯖江市立待小学校六年の板倉旺成君（こ）は「下水が川へ流れるまでに半日という長い時間がかかることに驚いた」と話していた。（山本洋児）

実験でティッシュペーパーを流してはいけないことを学ぶ児童ら10日、坂井市三国町の九頭竜川浄化センター



（中村俊介）